

コード	502040112
記入日	H26.6.5

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	森 太
担当者	山下 義孝

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	日本の宝「しま」体感交流事業実行委員会補助事業
----------	-------------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50204	基本事業名称	学習基盤の整備	目コード	1
事務事業コード	5020401	事務事業名称	生涯学習各時期における学習機会の充実と精選事業費	細目コード	435
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 長崎県内在住の小4～小6の児童及びその保護者 (対象2)	(対象指標1) 不特定 (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）
(全体)	(評価年度実績)
(全体計画) ・県内の子ども、親子、青年を対象に、しまの魅力を体験する活動を実施するため、新上五島町日本の宝「しま」体感交流実行委員会の事業に対し助成を行う。 →計画参加者数 H24：60名 H25：60名 H26：60名 合計：180名	(平成25年度) ・新上五島町日本の宝「しま」体感交流事業実行委員会へ補助金を交付した。 →日程 7月20日～22日(2泊3日) →体験内容 加々く・ジュニアリング・海水浴 郷土芸能鑑賞体験・魚釣り体験 備蓄基地見学・島内観光 (教会・文化財等)
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）
・県内の親子を対象に、長崎県特有のしまの魅力を体験する活動を実施することにより、しまの人々や参加者同士の交流を深めるとともに、実行委員会を中心としたしまの活性化を支援することを目的としている。	(指標名称) (指標数値) (達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)
	① 補助金交付団体数 2団体 66.7% 補助金交付団体数÷ 平成26年度 補助金交付団体数 1団体 100% 補助金申請団体数 平成25年度
	(達成率分析) 補助金申請内容を審査し、当初の計画どおり交付した。
	②
	(達成率分析)

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 団体	3	2	1	1	1				
	②									
成果指標	① 人	180	103	41	60	62	60			
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	4,553	2,947	1,353	1,600	1,594	1,600			
直接事業費 A	千円	2,453	1,547	653	900	894	900			
人件費 B	千円	2,100	1,400	700	700	700	700			
内 従事職員数	人	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1			
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円									
の 県補助金	千円	1,526	966	406	560	560	560			
財 起債	千円									
源 其 他	千円									
内 一般財源	千円	3,027	1,981	947	1,040	1,034	1,040			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	地域の教育力の向上や、しまの活性化を図るため、町ならではの体験活動を実施することが必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	アンケートの結果、様々な体験等を通じて互いに親睦を図り、しまを体感し、しまの良さを理解してもらえた。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	アンケートを実施し事業評価を行う。「事務担当者会」「実行委員会」を開催し事業の検証を進めると共に、次年度以降の取り組みへ反映させていく。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	アンケートでは、全ての人がこの事業を友人・知人に勧めたいとの回答があった。また、今度は家族全員で遊びに来たいとの意見もあった。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	県補助金実施要綱により、実行委員会を設置し、必要最小限の予算で実施している。	

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	体験メニュー等事業内容の充実を図った。船代の団体割引の交渉を行い設定した。
	今後、課題に向けた改善策	体験メニュー等事業内容の充実を図る。

2 次 評 価	体験等を通して本町の魅力を体感し、地域の人々や参加者同士の交流を深めることを目的としている事業である。本町の魅力・体験内容の充実を図り、地域の教育力の向上やしまの活性化につなげるよう、本町ならではの事業メニューを関係機関等と連携して推進すること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。